

Ⅱ ひとづくり分野

柱1 地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進【学校教育】

子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についている

柱2 心豊かな子どもの育成支援の推進【教育環境】

良好な教育環境が構築された社会の中で、子どもの健全な育成が図られている

柱3 生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備【生涯学習】

市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

柱4 地域の特徴を活かした芸術・文化・交流の推進【文化・交流】

市民の芸術文化活動や在住外国人との交流が活発に行われている

柱5 地域が支える子育て支援の推進【子育て】

地域を含めた子育て支援により、楽しく、安心して子育てしている

～ 10年後の江南市を担う若い世代の声～

江南市の魅力

- 江南市の歴史を調べたら、想像以上に歴史が深く歴史にあふれたまちであると分かり、誇りに思う
- 小学生のころ、毎日ボランティアの人たちが押しボタン信号や帰り道に付き添い、見守ってくれた（スクールガード）

新成人

- 布袋の古いまち並みは将来に残したい

中学生

市長だったら やってみたいこと

- 学校の設備を充実させたい
- 地域の交流を増やすために、イベントを増やしたい
- 大人も子どもも楽しめるような場所をつくりたい
- 様々な外国人が安心して暮らせる多文化共生社会にしたい
- スポーツが活発にできるまちづくりをしたい

中学生

出典：第3回江南市タウンミーティング（成人の集い実行委員会）
第6次江南市総合計画の策定に向けた中学生アンケート調査

Ⅱ ひと
柱 1

地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進
— 学校教育 —

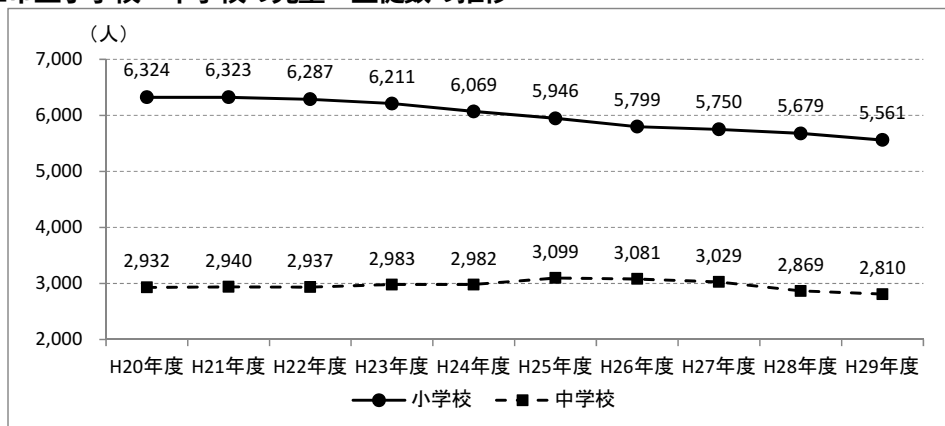
現状と課題

現在、子どもたちの教育環境を取り巻く状況は、児童・生徒数の減少、複雑化する社会状況の変化、多様な価値観をもった人々との交流や体験の減少などを背景に、子どもたちの規範意識や社会性の低下、生活習慣の乱れによる学習意欲や体力、気力の低下が課題として指摘されており、児童・生徒への対応についての重要性が増しています。

江南市においては、教育の機会均等、基本的な学習態度の育成、基礎学力の充実、正しい生活習慣の確立などを身につけさせるため、補助教員^{注1}の全校配置、特別支援学級^{注2}等支援職員の配置の人的支援とともに、学校給食の場などを活用した食育の推進を実施しています。また、地域の力を学校運営に活かす「地域とともにある学校」をめざし、コミュニティ・スクール事業を推進しています。さらに、地域のボランティア^{注3}などにより児童・生徒の安心・安全をめざした取り組みもされています。

今後は、一人ひとりの個性と能力に応じた教育体制（少人数学級など）のさらなる整備を進め、児童・生徒の基礎的・基本的な学力の向上をめざし、地域の協力を得て補充学習の機会の拡大を図る必要があります。また、学校での教育環境の整備については、ICT^{注4}機器の充実、学校施設の老朽化に対応するための大規模な改修、食物アレルギーなどの対応を視野に入れた給食センターの整備など、国の補助金の動向を注視し、優先順位をつけて進めていくことが必要となっています。

■市立小学校・中学校の児童・生徒数の推移



資料：教育課

10年後のすがた

子どもの権利条約に基づき、均等な教育機会の提供や地域に密着した教育が行われている。学校教育活動に関する情報が適時、家庭や地域に提供され、常に改善に向けた取り組みが行われており、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、お互いが補完する中で、児童・生徒の健全な育成や安全の確保に積極的に関わる地域になっている。学校では子どもたち一人ひとりの適性に応じた社会性や基礎的な学力・体力が育成できる教育体制が整い、ICT機器などの教材整備が充実し、学校施設の整備も進んでいる。また、適切な衛生管理の下、食物アレルギーにも対応した学校給食が提供されている。

その結果、地域に良好な人間関係が広がり、児童・生徒は社会性を身につけ、豊かな心をもって、安心・安全な環境で、生き生きと育っている。

注1 補助教員：よりきめ細やかな学習指導や生活指導を行うために、学級担任を補助する教員のこと。
 注2 特別支援学級：小中学校で、特別な支援を要する児童・生徒のために設けられる学級。
 注3 ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。
 注4 ICT：Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。

行政の使命

すべての子どもたちが自分の夢を育み、その実現に向けて、健全な育成が可能となるよう、快適で安全に学習できる学校環境を整備する。

成果目標

全体目標：子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についていると感じる市民の割合	%	20.0 (H28)	30.0	40.0	市民満足度調査により測定。

個別目標①：児童・生徒が心身ともに健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合	%	85.3 (H28)	88.0	91.0	児童・生徒の学校生活の充実度を測定するもの。
特別支援学級等支援職員配置人数	人	19 (H28)	20	23	障害のある児童・生徒への支援体制の充実度を測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
学校教育環境の充実	学習指導の充実を図るため、教育体制の整備及び教育活動の支援をする。	・特別支援学級等支援職員配置事業 ・学校補助教員配置事業

個別目標②：学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性が育まれている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
地域の人にあいさつする児童・生徒の割合	%	83.9 (H28)	88.0	91.0	児童・生徒の社会性と、地域とのつながりの状況を測定するもの。
地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合	%	79.8 (H28)	81.0	84.0	児童・生徒と地域とのつながりの状況を測定するもの。
職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数	事業所	298 (H28)	320	330	学校と地域とのつながりの状況を測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
地域連携の推進	児童・生徒が地域社会との関わりを通じて健全に育つことができる環境を作るため、地域活動への参加推進や地域連携による指導をする。また、地域活動としての「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を実施する。	・コミュニティ・スクール事業★ ・地域学習活動支援事業

個別目標③：バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけて健康に育っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合	%	小学校 90.2 中学校 82.3 (H28)	小学校 92.5 中学校 84.0	小学校 95.0 中学校 86.0	学校給食の充足度を測定するもの。
登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合	%	小学校 87.4 中学校 83.6 (H28)	小学校 90.0 中学校 87.0	小学校 93.0 中学校 90.0	児童・生徒が正しい食習慣を身につけているかを測定するもの。
学校給食における地場産物 ^{注1} の割合	%	35.2 (H28)	40.0	45.0	県内産農林水産物/総延べ品目数（調味料を除く）

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
学校給食の提供	児童・生徒の成長期の健康増進のため、安心・安全な給食を提供するとともに、給食施設や設備の整備、維持管理を行う。また、給食を通して、食育指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター維持運営事業 ・給食調理事業 ・給食用物資購入事業 ・学校給食基本計画策定事業★

個別目標④：教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合	%	37.6 (H28)	45.0	55.0	市民満足度調査により測定。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
学校の管理、運営の充実	教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組めるようにするため、各学校と連携を図りながら整備計画を立て、各種備品の整備やICT ^{注2} 機器などの情報環境に対応していく。また、校舎の改造などを計画的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材整備事業★ ・学校施設改造事業★

注1 地場産物：当該都道府県産農林水産物のこと。この計画では愛知県内産農林水産物を指す。

注2 ICT：Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。

市民協働のモデル

市民協働事業

●コミュニティ・スクール事業

・「地域とともにある学校づくり」を進めるため、コミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域が力をあわせて学校運営に取り組んでいます。

●地域学習活動支援事業

・退職教員等の地域の教育力を活かした、地域学習活動としての「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を実施しています。

関連する個別計画

▶ 第2次江南市食育推進計画（H27～H31）



江南市横田教育文化事業弁論大会

Ⅱ ひと
柱 2

心豊かな子どもの育成支援の推進
— 教育環境 —

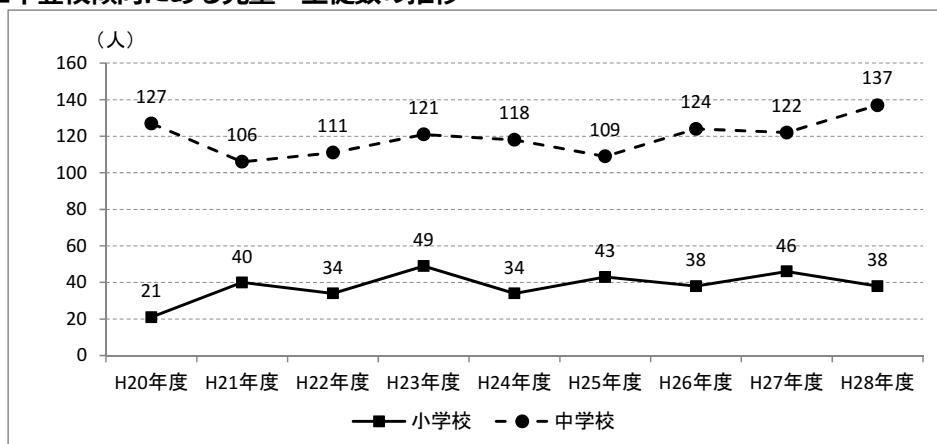
現状と課題

子どもから大人まで、価値観の多様化が進み、生き方や学び方が変化しています。また、家庭や地域における子どもたちを取り巻く環境が変化し、いじめや不登校の増加など、児童・生徒の健全育成環境を取り巻く課題も様々です。これらの課題に対応するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会制度の改革が行われました。

江南市においては、児童・生徒の心の不安や悩みの解消を目的に、全校に心の教室相談員^{注1}を配置するとともに、適応指導教室「Y o u ・輝」^{注2}を設置し、不登校対策を実施していますが、児童・生徒の不登校の人数は依然多い状況となっています。

平成27年度に設置した総合教育会議の下、教育委員会と市長が、教育政策に関する方向性を共有し、連携して取り組むことが求められています。

■不登校傾向にある児童・生徒数の推移



10年後のすがた

子どもたちを育てる体制が整い、地域の多くの人々が子どもの健全な育成に貢献している。また、教育委員会と市長の間で教育行政における課題が共有され、連携して教育政策の推進に取り組んでいる。その結果、いじめや不登校が減少し、豊かな人間性と学力をもった子どもたちが健全に育っている。

行政の使命

人間性豊かな子どもたちを育成するための教育施策を実施する。

児童・生徒の不安や悩みが解消できるよう、心の教室相談員を学校へ配置して、子どもたちの心に寄り添った相談をするとともに、不登校の子どもたちの居場所となるよう適応指導教室「Y o u ・輝」を設置し、相談体制を整える。

注1 心の教室相談員：市内の各小中学校で、児童・生徒の悩み、不安などを気軽に相談することができ、ストレスを和らげることのできる相談員のこと。

注2 適応指導教室「Y o u ・輝」：市内の小中学生で種々の事情で登校できない児童・生徒に学習の場を提供し、学習やスポーツなどの活動やカウンセリングを通じて、心の安定や社会性の成熟を図り、学校への復帰を支援する教室のこと。

成果目標

全体目標：良好な教育環境が構築された社会の中で、子どもの健全な育成が図られている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
子どもを取り巻く社会の教育環境が良好で、子どもが健全に育成されていると感じる市民の割合	%	66.3 (H29)	68.0	70.0	市民満足度調査により測定。

個別目標①：子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
不登校の児童・生徒数の割合	%	小学校 0.67 中学校 4.78 (H28)	小学校 0.60 中学校 4.00	小学校 0.50 中学校 3.00	年間 30 日以上欠席者数/全学年児童・生徒数
家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全な育成のために取り組んでいると感じる市民の割合	%	56.0 (H29)	58.0	60.0	市民満足度調査により測定。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
子どもを育成する環境の充実	子どもが健やかに育つ環境を整え、人間性豊かな子どもたちを育成するため、児童及び生徒の不安や悩みが解消されるよう、相談及び指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業

個別目標②：教育委員会と市長との連携により、子どもの教育環境が整っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
子どもの教育環境が整っていると感じる市民の割合	%	63.2 (H29)	65.0	67.0	市民満足度調査により測定。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
良好な学習環境の構築	学校教育についての方針を示すため、教育委員会の運営及び調査研究、総合教育会議に関する事務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会運営事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●いじめ・不登校対策事業

- ・江南市いじめ防止基本方針に基づき、学校、家庭、地域、警察、児童相談センターなどの関係機関が連携して、いじめ、不登校の対策を行っています。

関連する個別計画

- 江南市いじめ防止基本方針

Ⅱ ひと
柱 3

生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備
— 生涯学習 —

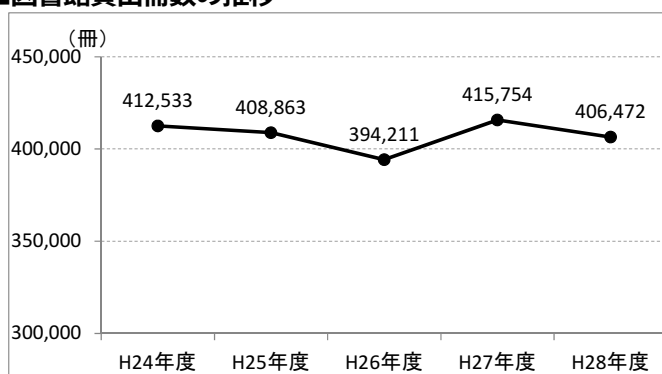
現状と課題

情報化、国際化などの急激な社会変化に伴う生涯学習の意識の変化や社会貢献活動を求める意識の高まりにより、どの世代においても生涯学習活動への参加意欲が増大しています。また、晩婚化・未婚化、核家族化や少子高齢化などにより、社会構造の変化や個人の価値観の多様化が進み、様々な生きがいづくりや学習機会の創出、学習拠点の確保などの重要性が増してきています。

江南市においては、市内に高度な教育研究機能を有する大学などの人的・社会的資源があり、「生涯学習講師人材バンク」^{注1}や、図書館を拠点とした「点訳・音訳・読み聞かせ・ストーリーテリング」^{注2}など、多彩な指導者が中心となって市民の生涯学習を支える活動を行っています。また、公民館・学習等供用施設を中心に、市民自らが生涯学習を通して学んだ知識を地域で活かすことで、学習意欲のいっそうの向上が図られているほか、スポーツ推進委員や校区スポーツ委員が様々なスポーツの普及振興に取り組んでいます。

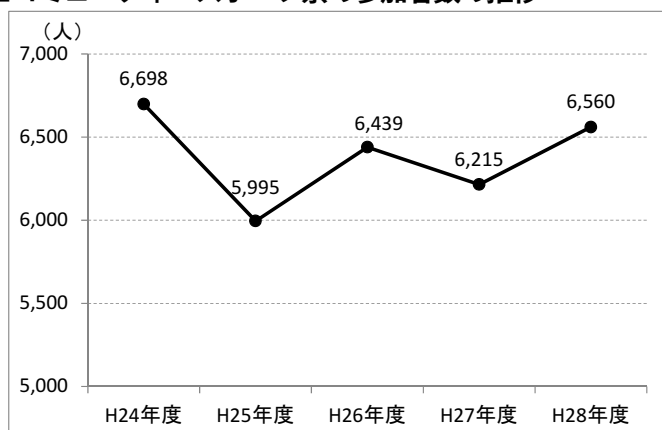
今後は、江南市の特性に合った図書館機能の充実や、公民館・学習等供用施設などの学習拠点の確保、競技スポーツから生涯スポーツまで幅広いスポーツ活動の拠点施設となる新しい体育館の利活用を図り、生涯学習の人的・社会的資源を最大限に活用し、個々の活動の交流を通じて、市民が健康で生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備が求められています。

■図書館貸出冊数の推移



資料：こうなんの統計

■コミュニティ・スポーツ祭の参加者数の推移



資料：生涯学習課

注1 生涯学習講師人材バンク：優れた知識や技能を有している市民を生涯学習の指導ボランティアとして人材登録する仕組みのこと。

注2 ストーリーテリング：話し手が、本を読まずに、話を覚えて聞き手に語り聞かせること。言葉だけによって物語を想像する楽しみを味わい、言葉の魅力を体感することができる。

10年後のすがた

市民の生涯学習ニーズに対応し、大学などの教育・研究機関から学習機会や施設などが提供され、スポーツ団体、学習サークルによる市民の自発的なスポーツ活動、学習活動及びボランティア^{注3}活動が体育館や図書館、公民館・学習等供用施設等で活発に行われている。

その結果、多くの市民が生涯にわたり身近な場所で学習やスポーツに取り組み、様々な世代と交流しながら、生きがいをもって暮らしている。

行政の使命

地域の人的・物的資源を最大限活用し、市民ニーズにあわせた多様性のある生涯学習機会を創出するとともに、そのための学習拠点や学習で得た知識、能力を発揮する場となる図書館や体育館、公民館をはじめとした社会教育施設の充実や、生涯学習活動の推進を図る。

また、個々の学習活動の交流を促進させることで、生涯学習活動の場を世代間交流の機会として活用し、相互の生きがいづくりにつなげる。

成果目標

全体目標：市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
生涯学習活動に参加している市民の割合	%	18.1 (H29)	20.0	22.0	市民の生涯学習活動の実施状況を測定するもの。 市民満足度調査により測定。

個別目標①：市民が、様々な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
愛知江南短期大学と連携した事業の参加者数	人	1,371 (H28)	1,500	1,550	大学と連携した学習活動（オープンカレッジ等） ^{注4} の実施状況を測定するもの。
1人当たりの図書等の貸出点数	冊	4.0 (H28)	4.5	5.0	図書館を利用した学習活動の状況を測定するもの。 貸出実数/人口
公民館の利用者数	人	70,824 (H28)	71,500	72,000	公民館を利用した学習活動の状況を測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
生涯学習活動の推進	社会教育の振興及び生涯学習活動の推進のため、各種教室の開催や運営を行う。また、生涯学習活動の場を提供するため社会教育施設等の管理運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会事業 ・公民館維持運営事業 ・学習等供用施設維持運営事業 ・図書館維持運営事業 ・図書館基本計画策定事業★

注3 ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。

注4 オープンカレッジ：大学などの教育機関が、地域住民などに門戸を開き、公開講座などを実施して生涯学習の機会を提供する取り組みのこと。

個別目標②：市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
屋内のスポーツ施設の稼働率	%	87.3 (H28)	88.0	89.0	市民の屋内スポーツ施設の利用状況を測定するもの。 (スポーツセンター競技場、武道館の剣道場・柔道場の各施設の稼働率の平均値)
屋外のスポーツ施設の稼働率	%	64.5 (H28)	68.0	70.0	市民の屋外スポーツ施設の利用状況を測定するもの。 (市営グラウンド、蘇南公園多目的グラウンド・多目的広場・蘇南グラウンド、江南緑地公園中般若グラウンド・野球場・ソフトボール場・サッカー場・グラウンドゴルフ場、テニスコートの各施設の稼働率の平均値)
コミュニティ・スポーツ祭の参加者数	人	6,560 (H28)	6,840	7,000	市民の地域スポーツに対する取り組み意識を測定するもの。(市内10小学校区で参加した人数の総計)

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
スポーツレクリエーションの充実	スポーツ団体の活動を活性化させるため、スポーツ団体の育成・支援を行うとともに、市民にスポーツの楽しさを理解してもらうため、スポーツ大会などのスポーツイベントを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会開催事業★ ・スポーツ振興事業 ・スポーツ推進委員事業 ・スポーツ施設等維持運営事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●成人教育事業

- ・優れた知識や技能を有している市民を生涯学習の指導講師として生涯学習講師人材バンク^{注1}に登録しています。

市民協働の推進に向けて

●スポーツ推進委員活動の推進

- ・市民選出のスポーツ推進委員を通じて、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントを開催するなど、生涯スポーツに関する取り組みを行います。

関連する個別計画

- 第2次江南市生涯学習基本計画 (H24～H33)
- 第2次江南市子ども読書活動推進計画「こうなん“わくわく”読書プラン」(H27～H31)
- 江南市民スポーツ振興計画

注1 生涯学習講師人材バンク：優れた知識や技能を有している市民を生涯学習の指導ボランティアとして人材登録する仕組みのこと。

Ⅱ ひと
柱 4

地域の特色を活かした芸術・文化・交流の推進
— 文化・交流 —

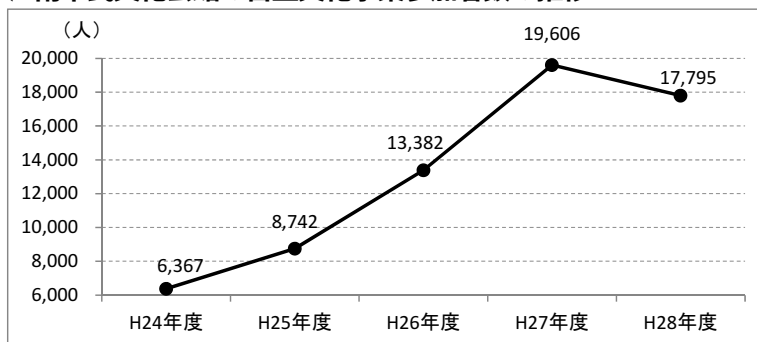
現状と課題

社会の成熟化やライフスタイルの多様化、地域社会の構造変化などの影響で、生きがいや心の豊かさが重視されるようになってきており、文化活動の場の充実、伝統文化の保存・継承が求められています。また、国際化が進み、外国に対する関心が高まっているとともに、外国人の定住化も進んでいます。

江南市においては、市民文化会館などで優れた芸術文化を鑑賞することができ、市民による活動や発表が行われています。伝統文化については、古くから保存・伝承されてきた文化財が多数残されています。また、国際交流事業については、江南市国際交流協会を中心に、多くのボランティア注2によって国際交流・多文化共生注3の取り組みが行われています。

今後は、市民の要望を踏まえた文化事業の実施、地域の力を活かした文化活動の推進、伝統文化や文化財の保存・継承と保護意識の高揚、郷土への誇りと愛着をもつことのできる機会の提供が求められています。また、外国人も住みやすい多文化共生社会の実現が求められています。

■江南市民文化会館の自主文化事業参加者数の推移



資料：生涯学習課

10年後のすがた

各種行事への参加や優れた芸術文化を鑑賞する機会が増え、積極的に芸術文化に親しんでいる。郷土の歴史や文化財の保存などに関心をもった市民・サークルが、主体的に研究活動を行っている。また、「市内在住外国人も同じ江南市民」という多文化共生の意識が浸透し、外国人も社会ルールを守って市民生活を送っている。

その結果、心豊かな文化社会が創造されるとともに、文化財や伝統文化が大切に継承され、郷土を愛する心が育まれている。また、安心して暮らせる「多文化共生のまち」が進展し、国際的な理解度の深い市民が多くなっている。

注2 ボランティア：自主的に社会活動などに参加し、奉仕活動をする人。

注3 多文化共生：国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認めた上で、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

行政の使命

文化活動が活発に行われるよう、多様な芸術文化に関する取り組みを進めるとともに、文化団体を支援・育成する。

郷土への誇りと愛着を高めるため、郷土の歴史や文化財に関するセミナー、講演会を開催するとともに市内に残されている歴史資料や歴史民俗資料館の資料を公開した企画展を開催する。

江南市国際交流協会などとの連携をさらに強め、在住外国人をサポートする取り組みや多文化共生^{注1}の取り組みに対する支援を行う。また、世界平和の重要性をさらに市民に浸透させるための取り組みを進める。

成果目標

全体目標：市民の芸術文化活動や在住外国人との交流が活発に行われている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
芸術文化活動や地域に住む外国人との交流が、市民レベルで活発に行われていると感じる市民の割合	%	6.4 (H28)	8.0	9.0	市民満足度調査により測定。

個別目標①：市民が芸術文化活動を積極的に行っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
市民文化会館の稼働率	%	55.2 (H28)	58.0	60.0	市内の芸術文化活動の実施状況を測定するもの。(大ホール・小ホールの稼働率の平均値)
芸術文化事業への参加者数	人	17,795 (H28)	20,000	20,500	市内の芸術文化活動に対する関心の度合いを測定するもの。 (市民文化会館自主文化事業の参加者数)
美術展出品者数	人	239 (H28)	250	260	市内の芸術文化活動に対する関心の度合いを測定するもの。 (市の主催する美術展一般の部への出品者数)

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
芸術文化の振興	市民が芸術及び文化に親しむことができるよう、文化事業を行う。 また、芸術及び文化の鑑賞並びに市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化会館を管理運営する。	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展事業 ・市民文化会館維持運営事業

注1 多文化共生：国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認めた上で、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

個別目標②：郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する誇りや愛着をもっている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
指定・登録文化財の数	件	国指定 5 県指定 9 市指定 95 国登録 3 (H28)	国指定 5 県指定 9 市指定 96 国登録 4	国指定 5 県指定 9 市指定 97 国登録 4	現存する文化財を損なうことなく保存・継承している状況を測定するもの。
文化財普及事業への参加者数	人	9,345 (H28)	9,600	10,000	文化財普及活動に対する関心の度合いを測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
文化財の保護	郷土の歴史や文化財への市民の関心を深めるため、文化財の保護及び活用をする。	・文化財保護事業★

個別目標③：多文化共生社会が進展し、世界平和の重要性が認識されている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
江南市国際交流協会の事業（多文化共生事業）に参加する外国人の数	人	869 (H28)	900	950	多文化共生社会の進展を外国人向け教室や講座などの外国人参加者数で測定するもの。
江南市国際交流協会の事業（多文化共生事業）に参加する日本人の数	人	5,915 (H28)	6,200	6,500	多文化共生社会の進展を各種イベントや講座などの日本人の参加者数で測定するもの。
世界平和を願うパネル展の来場者数	人	1,350 (H28)	1,400	1,450	世界平和に対する関心の度合いを測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
国際交流・世界平和の推進	様々な国籍の市民が共存する社会を築くため、国際交流・多文化共生を推進する。 また、世界平和の重要性に対する市民の理解を深めるため、啓発活動をする。	・世界平和・国際協力推進事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●文化協会事業

・江南市文化協会の活動を支援しています。

●国際交流推進事業

・江南市国際交流協会の活動を支援しています。

市民協働の推進に向けて

●文化財への理解の促進

・歴史ボランティアガイドなどとの連携を図ります。

関連する個別計画

- ▶ 第2次江南市生涯学習基本計画（H24～H33）



江南市美術展

Ⅱ ひと
柱 5

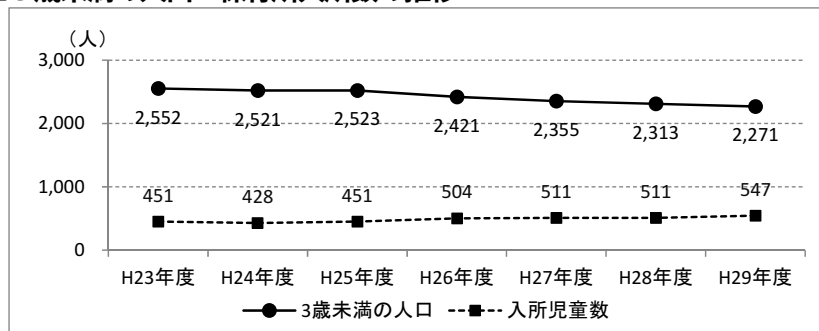
地域が支える子育て支援の推進
— 子育て —

現状と課題

核家族化の進展や地域のつながりの希薄化による育児不安や子育て家庭の孤立化、女性の社会進出に伴う共働き家庭の増加、就労環境の多様化等により、子どもや子育てをめぐる環境は大きく変化しています。急速な少子化が進展する中で、子どもと家庭を取り巻く環境は依然として厳しく、増加する児童虐待への対策など国や地域を挙げて子ども・子育てを支援することが時代の要請、社会の役割となっています。このような社会背景の下、平成27年度から、幼児期の学校教育や保育の総合的な提供や量の拡充、地域の子育て支援の充実をめざし「子ども・子育て支援新制度」が始まりました。

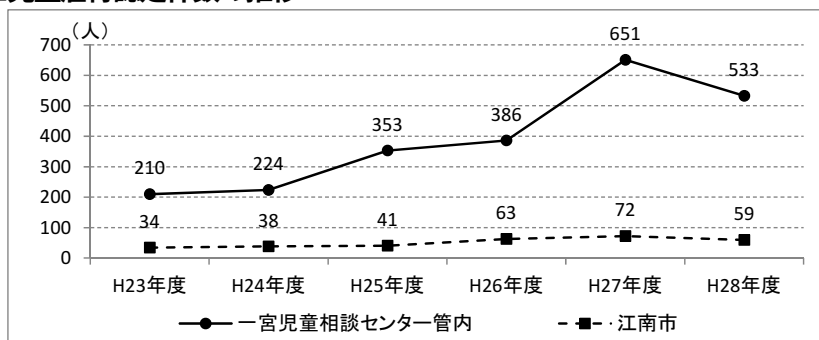
江南市においても、少子化が進んでいるにも関わらず、低年齢児保育や放課後児童の居場所確保へのニーズは高く、休日保育、病児・病後児保育^{注1}の実施等も課題となっています。また、子育て家庭のニーズに応えられるよう各種保育・子育て支援サービスの充実などに取り組むとともに、子育ての不安を軽減し、子育ての楽しさを実感できるよう、きめ細やかな相談体制の充実や親と子の居場所づくり、地域の子育て環境づくりが求められています。

■ 3歳未満の人口・保育所入所数の推移



資料：子育て支援課

■ 児童虐待認定件数の推移



資料：一宮児童相談センター

注1 病児・病後児保育：児童等が病気や病気回復期において集団での保育が困難であり、保護者が勤務などにより家庭で育児を行うことが困難な場合に、一時的に預かるサービスのこと。

10年後のすがた

子どもの最善の利益が尊重され、子育て支援に関わる団体や支援者など、様々な担い手によって活発な活動が行われており、子育てを地域全体で支援し、地域で安心して子育てができる環境が整備されている。また、様々な情報媒体により、子育てに関する情報が手軽に入手できる環境が整備されている。

その結果、保護者が、仕事と生活が調和した暮らしを実現し、子育てを経験することを通じて、親としての成長を実感し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるようになっている。

行政の使命

子育て家庭が孤立することなく、子育て中の親子が身近な場所で気軽に交流することで、子育ての不安や悩みを解消でき、地域の中で家庭の力を高められるようにするため、相談体制の強化、計画的な子育て支援施設の整備を図る。また、子どもの年齢や親の就労状況などに応じた、教育・保育や子育て支援の選択肢を増やすとともに、民間や各種団体に積極的に働きかけ、協働体制を強化することにより、多様なニーズに対応し、より充実した子育て環境の推進を図る。

成果目標

全体目標：地域を含めた子育て支援により、楽しく、安心して子育てしている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
保育サービスが充実しており、安心して子育てしていると感じる市民の割合	%	23.2 (H28)	30.0	40.0	市民満足度調査により測定。
学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合	%	22.1 (H28)	25.0	30.0	市民満足度調査により測定。

個別目標①：働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
保育所入所申込者のうち、入所できた児童数の割合	%	99.7 (H28)	100.0	100.0	保育ニーズに対する充足率を測定するもの。 入所児童数/保育所入所申込者数

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
働きながら子育てする家庭への保育・育児支援	保護者の就労状況に応じて、安心して子どもを生み育てられる環境を整備するため、子育て支援施策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援推進等事業★ ・保育園保育等事業 ・病児・病後児保育事業★ ・低年齢児受入拡大対策事業★

個別目標②：子育て不安が解消でき、楽しく育児ができている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
対象児童1人当たりの子育て支援センター ^{注1} (子育てサロン) 利用回数	回/人	10.2 (H28)	10.5	11.0	親同士の交流・情報交換等の場としてどれくらい利用されているかを測定するもの。 延べ利用人数/3歳未満人口
ファミリー・サポート・センター ^{注2} 援助員数	人	97 (H28)	120	130	子育て支援の協力体制がどの程度整っているかを測定するもの。
家庭児童相談等件数	件	2,815 (H28)	↗	↗	子育て不安や家庭での問題に対する相談体制の充実度を測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
子育て不安の解消	子どもの健全育成のため、子育てや家庭の問題について相談を行い、不安の解消を図る。また、江南市要保護児童対策地域協議会を中心に虐待防止ネットワークを強化し、関係機関相互の連携を取り、児童虐待に関する情報の共有と、早期発見・早期対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター維持運営事業★ ・ファミリー・サポート・センター事業 ・家庭児童相談事業 ・要保護児童対策事業

個別目標③：支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
ひとり親家庭への就労教育支援件数	件	7 (H28)	10	15	ひとり親家庭が自立するため必要な就労支援の充足度を測定するもの。

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
子育てに困っている家庭への経済支援等	ひとり親家庭が直面している困難を解消するため、経済的な支援を行うとともに、生活の支援に関する相談・情報提供の充実を図る。また、経済的に自立し、安定した生活を送れるよう、キャリアアップにつながる教育の支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・遺児手当等事業 ・母子・父子家庭自立支援給付事業

注1 子育て支援センター：子育て家庭などに対して、親子同士のふれあいの場であるサロンの提供、育児不安などに対する相談・助言、子育てサークルなどの育成・支援、各種教室や子育て講習会などの開催及び子育てに関する情報誌の発行を行う支援センターのこと。

注2 ファミリー・サポート・センター：子育て中の保護者が仕事や急な用事などで子どもの世話ができないときに、一時的に地域の人が支援する会員同士の相互援助活動を行う組織・仕組み。

個別目標④：異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名	単位	基準値	目標値		説明
			H35	H39	
学童保育の利用対象学年	学年	小学 1～4年 (H28)	小学 1～6年	小学 1～6年	子どもの居場所の確保の充実を測定するもの。
放課後子ども教室数	校	6 (H28)	7	10	子どもの居場所の確保の充実を測定するもの。 (市内の小学校(10校)のうち、放課後子ども教室を実施している学校の数)
対象児童1人当たりの児童館活動参加回数	回/人	8.9 (H28)	9.0	9.0	児童館の利用状況を測定するもの。 延べ利用人数/小学生以下人口

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
遊びを通じた楽しく豊かな子育ての実現	児童の健康の増進や豊かな情操の育成を図り、安全な活動場所の提供をするため、児童館活動や放課後の居場所づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館活動事業 ・放課後子ども総合プラン^{注1}事業 (放課後児童健全育成)★ ・放課後子ども総合プラン事業 (放課後子ども教室)★ ・学童保育所整備事業★

市民協働のモデル

市民協働事業

●ファミリー・サポート・センター^{注2}事業

・子育ての手助けを必要とする保護者に援助会員を紹介しています。多様化する援助内容に対応するため事業のPRにより、登録援助会員の増員を図っています。

●児童委員事業

・地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、児童委員が子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行っています。

市民協働の推進に向けて

●子ども会活動支援の推進

・ジュニアボランティアクラブ^{注3}の育成を推進し、子ども会との連携を図ることで、各種団体の活性化を支援していきます。

関連する個別計画

- 江南市子ども・子育て支援事業計画 (H27～H31)

注1 放課後子ども総合プラン：文部科学省及び厚生労働省が推進する政策であり、すべての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備を進めること。次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画指針を定めている。

注2 ファミリー・サポート・センター：子育て中の保護者が仕事や急な用事などで子どもの世話ができないときに、一時的に地域の人が支援する会員同士の相互援助活動を行う組織・仕組み。

注3 ジュニアボランティアクラブ：市内の中学生や高校生を中心とした、ボランティアクラブとして、江南市子ども会連絡協議会の行事や江南市内地域の子ども会などの行事に参加、企画運営をし、地域社会に貢献することを目的としている。